

## Renesas S5D9 用サンプル(e2studio WIRE\_UDP\_HTTP)の説明

(e2studio Version:2022-10 / SSP Version 2.4.0)

### 1. Sample の免責について

- **Sample** に関する **Tel/Fax** でのご質問に関してはお受けできません。ただし、メールでのご質問に関してはお答えするよう努力はしますが、都合によりお答えできない場合もありますので予めご了承ください。
- **Sample** ソフトの不具合が発見された場合の対応義務はありません。また、この関連ソフトの使用方法に関する質問の回答義務もありませんので承知の上ご利用下さい。
- **Sample** ソフトは、無保証で提供されているものであり、その適用可能性も含めて、いかなる保証も行いません。また、本ソフトウェアの利用により直接的または間接的に生じたいかなる損害に関しても、その責任を負わないものとします。

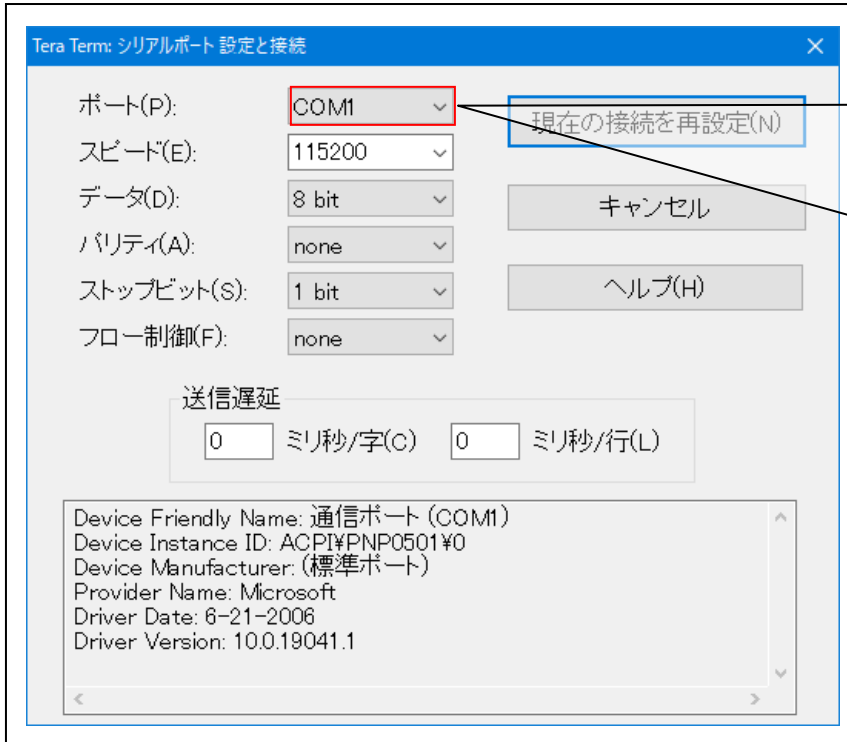
### 2. サンプルのプロジェクト名

ワークスペース名	概要	プロジェクト名
S5D9_e2std_WIRE_NetX_2	有線 LAN 接続した固定 IP アドレスによる UDP 通信と HTTP サンプル	WIRE_UDP_HTTP_ETH Azure RTOS で動作 UDP 通信 (nx_udp_socket_.....) NetX HTTP Server (g_http_server0)

統合開発環境
Renesas e2studio(Version 2022-10)
SSP(Version2.4.0)

### 3. Tera Term Pro のインストール

- ① 「teraterm-4.106.exe」 を検索してダウンロードする。
- ② PC にインストールし実行する
- ③ シリアルポートの設定



COM 番号は、  
PC 側でシリアル通信可能  
な番号を指定する。

115200BPS

8bit

none

1bit

none

の仕様にする。

#### ④ 端末の設定

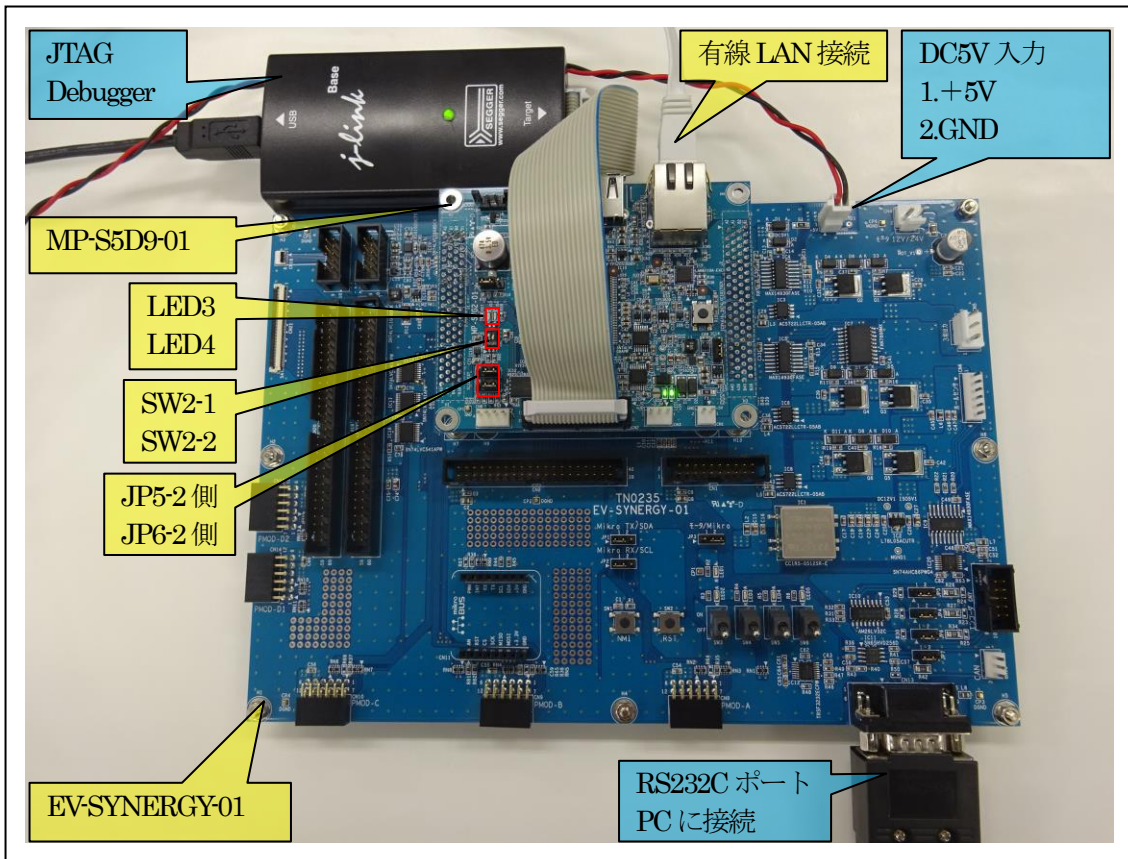


USB シリアルコンバ  
ータ使用時に CR コ  
ードがカットされる  
設定の場合は、**受  
信 : LF** にして下さ  
い。

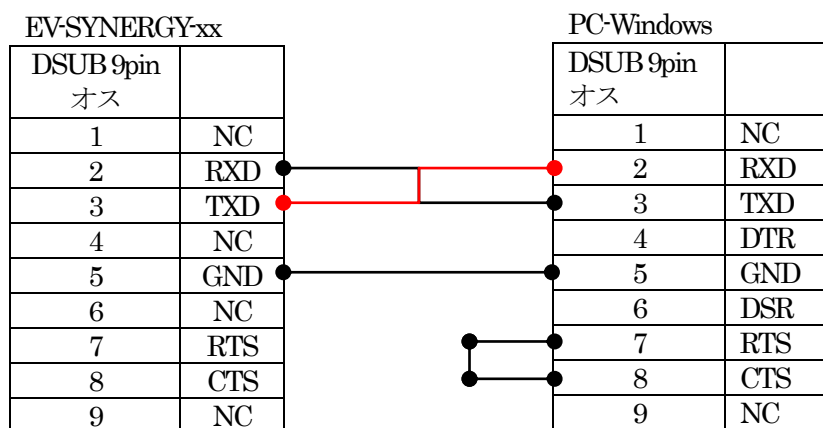
赤枠の設定にする。

4. 動作構成

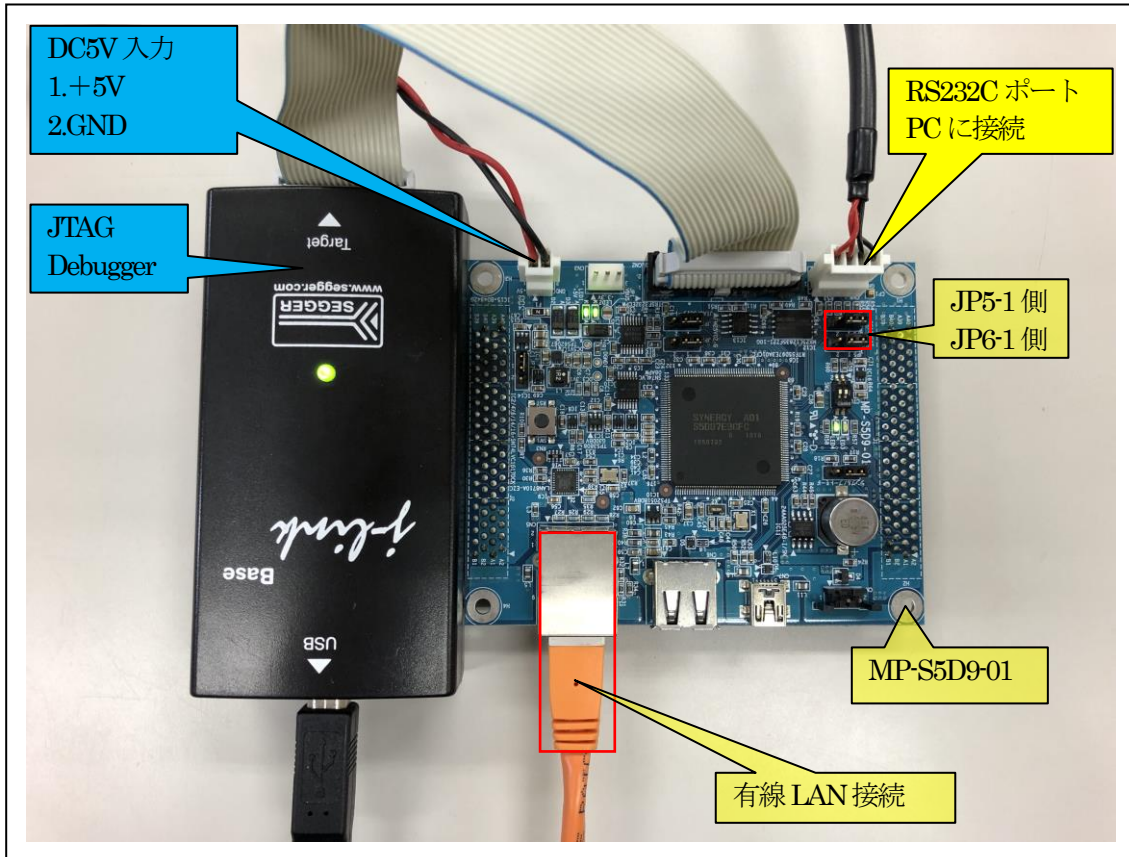
【EV-SYNERGY01】を使用の場合



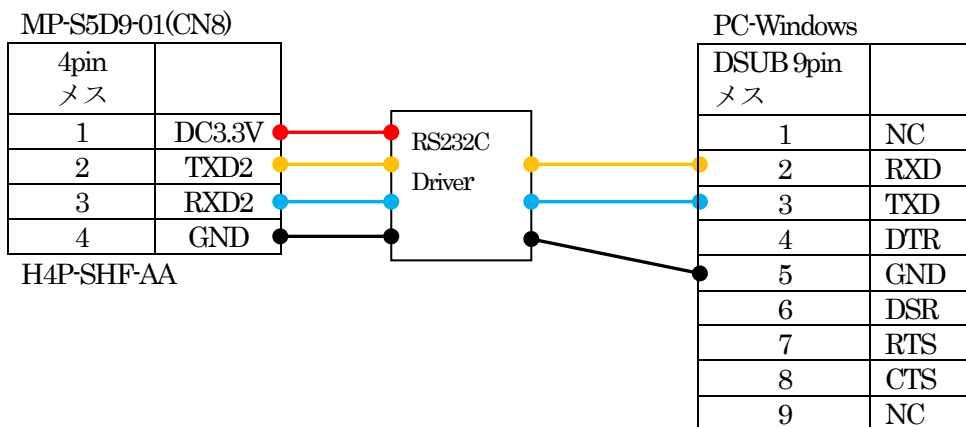
- ①PC機と接続するRS232Cケーブルは、市販「クロスケーブル」でも可能です。
- ②USB-シリアル変換ケーブルを使用される場合は、「StarTech.com社 ICUSB232FIN」推奨
- ③自作する場合は、下記の配線になります。



【MP-S5D9-01】のみ使用の場合



- ①PC機と接続するRS232Cケーブルは、製作が必要です。
- ②「RS232C-Driver」は、下記URLの「RS232CAB4」を推奨します。  
[http://tool-kobo.ddo.jp/Files/Product/RS232\\_422/RS232CAB.htm](http://tool-kobo.ddo.jp/Files/Product/RS232_422/RS232CAB.htm)



## 5. 「S5D9\_e2std\_WIRE\_NetX\_2」 サンプルの説明

## 5-1. 「WIRE\_UDP\_HTTP\_ETH」フォルダ構成とファイル名

S5D9_e2std_WIRE_NetX_2\WIRE_UDP_HTTP_ETH		
Debug	WIRE_UDP_HTTP_ETH.elf	ELF ファイル、JTAG で使用
	WIRE_UDP_HTTP_ETH.map	MAP ファイル、アドレス情報管理
	WIRE_UDP_HTTP_ETH.srec	モトローラーHEX ファイル
	その他	自動生成ファイル
Script	S5D9.ld	ロケーション定義ファイル
Src	http_server_fix2_thread_entry.c	HTTP server Thread サンプルファイル
	http_server.c	const html サンプルファイル
	http_server.h	http_server.c 用ヘッダーファイル
	udp_fix2_thread_entry.c	UDP server Thread サンプルファイル
MP-S5D9-01 (リンク指定)	e2p.c	E2PROM 処理モジュール
	e2p.h	e2p.c 用ヘッダーファイル
	led.c	LED 処理モジュール
	led.h	led.c 用ヘッダーファイル
	sci2.c	シリアル通信処理モジュール
	sci2.h	sci2.c 用ヘッダーファイル
	stchar.c	文字系処理モジュール
	stcahr.h	stchar.c 用ヘッダーファイル
synergy_gen	Generate を行うと作成されるファイル	
Synergy	Generate を行うと作成されるファイル	
synergy_cfg		
Configuration.xml	プロジェクト Generation ファイル	
PIN-MP-S5D9-01.pincfg	PIN configuration 用ファイル	
WIRE_UDP_HTTP_ETH.jlink	Jlink デバッガー用ファイル	
その他	自動生成ファイル	

## 5-2. サンプルの動作説明

### <HTTP server Fix Thread>

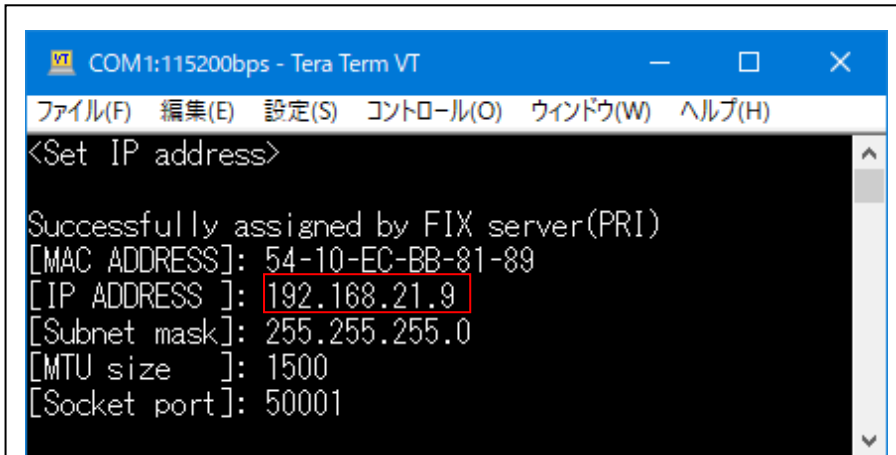
- ① 固定 IP アドレスを設定する。

#### 【固定 IP アドレス定義】

```
http_server_fix_thred_entry.c:#define MY_IP IP_ADDRESS(192,168,21,9)
```

- ・ IP アドレス設定成功により、MP 基板上の LED3 を 100msec 毎に点滅

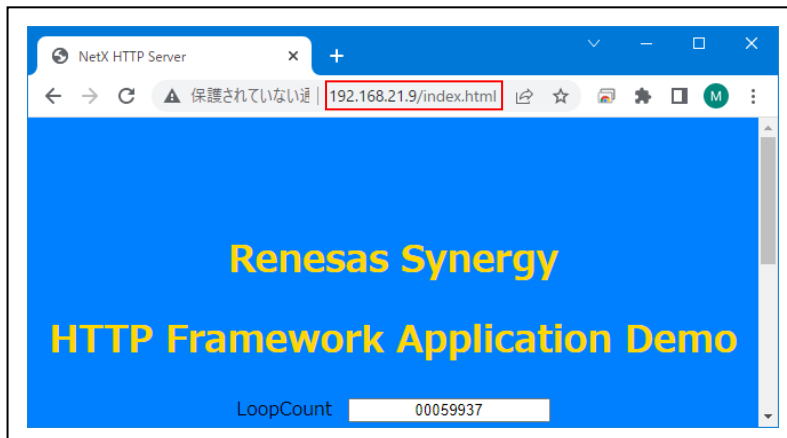
- ② 固定 IP アドレス情報を Term 画面に表示する。



The screenshot shows a terminal window titled "COM1:115200bps - Tera Term VT". The menu bar includes "ファイル(F)", "編集(E)", "設定(S)", "コントロール(O)", "ウインドウ(W)", and "ヘルプ(H)". The terminal content shows the command "<Set IP address>" and the following output:

```
Successfully assigned by FIX server(PRI)
[MAC ADDRESS]: 54-10-EC-BB-81-89
[IP ADDRESS ]: 192.168.21.9
[Subnet mask]: 255.255.255.0
[MTU size   ]: 1500
[Socket port]: 50001
```

- ③ Windows PC のインターネット ブラウザを使用して HTTP Server にアクセスする。



---

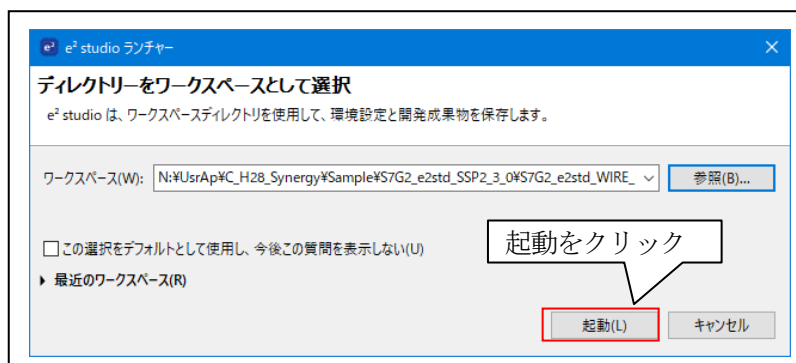
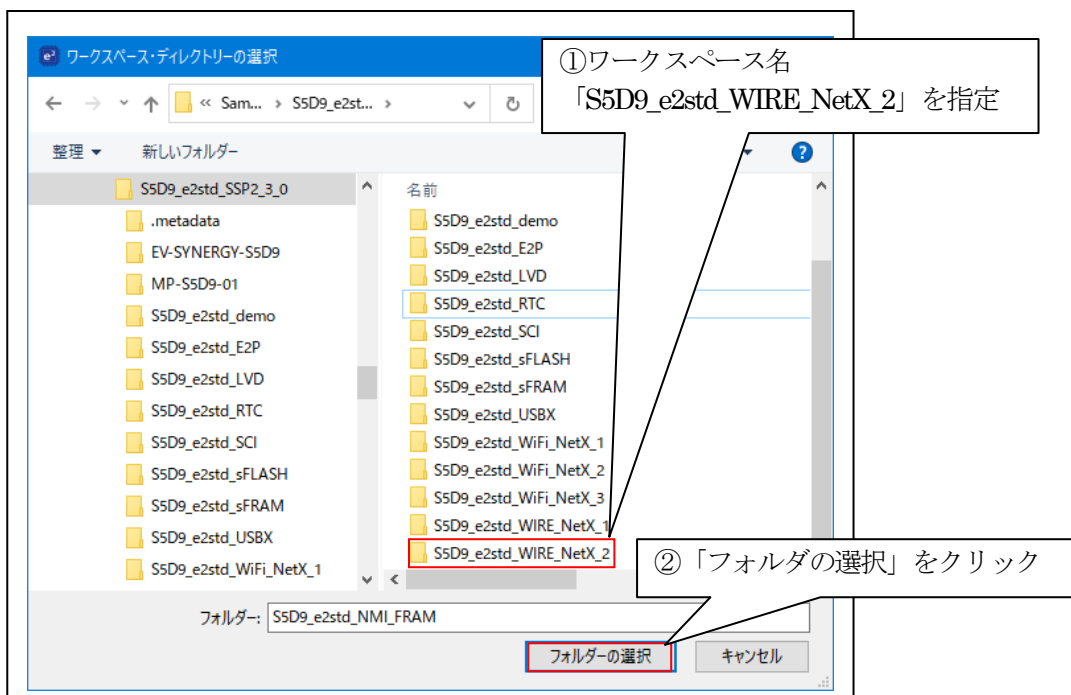
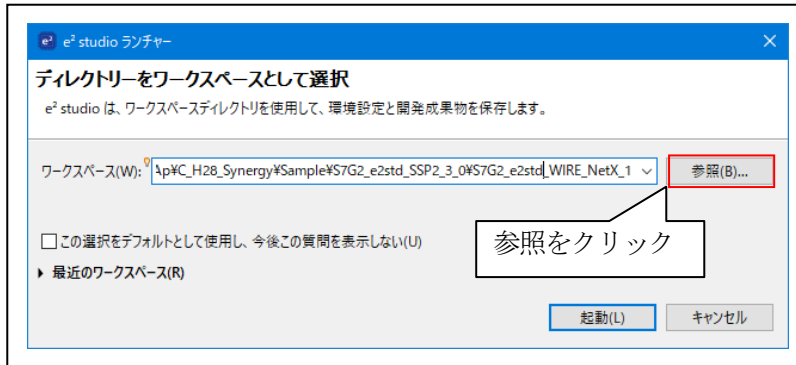
---

<UDP Fix Thread>

- ① Windows PC からの受信データを待つ。  
受信完了にて、Term 画面 ["Recv>"] と受信データのダンプ表示をする。
  - ② ①で受信したデータを Windows PC にエコーバックとして送信する。  
送信完了にて、Term 画面 ["Send>"] と送信データのダンプ表示をする。  
送信不可の場合、Term 画面 ["<nx\_udp\_socket\_send() Error!!>"] と表示する。
  - ③ Windows PC 側でディスコネクション「切断」するまで、①からの処理を繰り返す。
- UDP Fix Thread 起動後、MP 基板上の LED4 を 100msec 毎に点滅

## 6. 「S5D9\_e2std\_WIRE\_NetX\_2」をインポートする。

### 6-1. ワークスペース名の指定



### 6-2. プロジェクトのインポート

☆詳細操作は「[e2studio\\_synergy\\_Import.pdf](#)」の2項を参照して下さい。



## 7. デバッグ操作

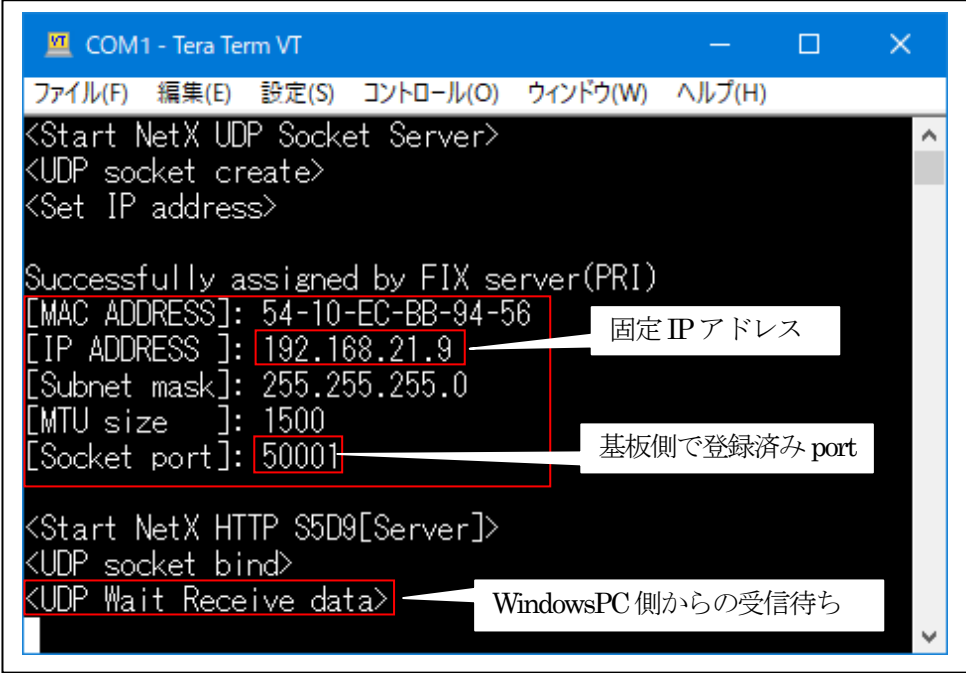
### 7-1. デバッグ構成の設定

☆詳細操作は「[e2studio\\_synergy\\_Import.pdf](#)」の3-1項を参照して下さい。

### 7-2. デバッグの開始

☆詳細操作は「[e2studio\\_synergy\\_Import.pdf](#)」の3-2項を参照して下さい。

<WIRE\_UDP\_HTTP\_ETH 実行画面>



```

COM1 - Tera Term VT
ファイル(F) 編集(E) 設定(S) コントロール(O) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)
<Start NetX UDP Socket Server>
<UDP socket create>
<Set IP address>

Successfully assigned by FIX server(PRI)
[MAC ADDRESS]: 54-10-EC-BB-94-56
[IP ADDRESS ]: 192.168.21.9
[Subnet mask]: 255.255.255.0
[MTU size   ]: 1500
[Socket port]: 50001

<Start NetX HTTP S5D9[Server]>
<UDP socket bind>
<UDP Wait Receive data>
  
```

固定 IP アドレス

基板側で登録済み port

WindowsPC 側からの受信待ち

<インターネット ブラウザ実行画面>

固定 IP アドレスをセットする。

http\_server\_thread の Loop counter を 3sec 周期で表示

Push0[PB1/PB2/PB3]の クリック数を表示

Push1[PB1/PB2/PB3]の クリック数を表示

LoopCount	00004658
Push0Count	0000
Push1Count	0000

Button CONTROL

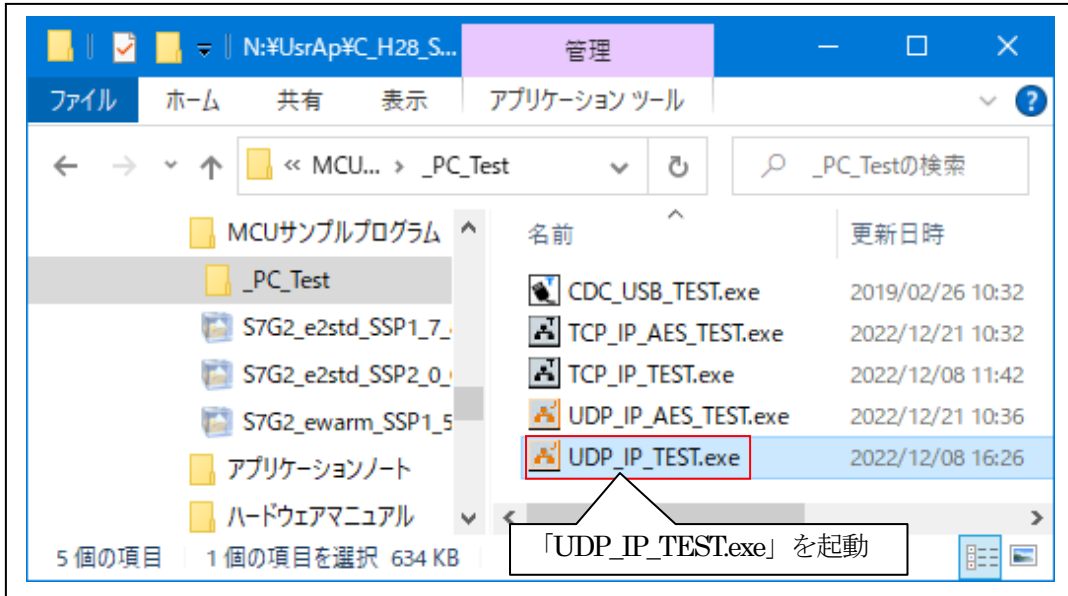
Push0 PB1 PB2 PB3 Push1 PB1 PB2 PB3

Synergy MP-S7G2-01

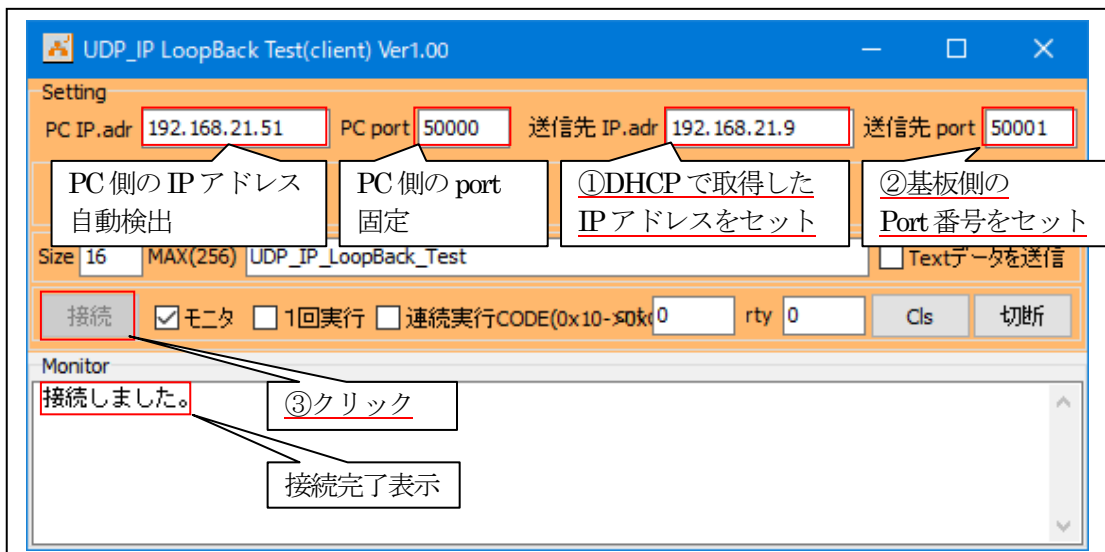
7-3. Windows PC 側のテスト用プログラムを使用して動作確認

1) 「UDP\_IP\_TEST」を起動する。

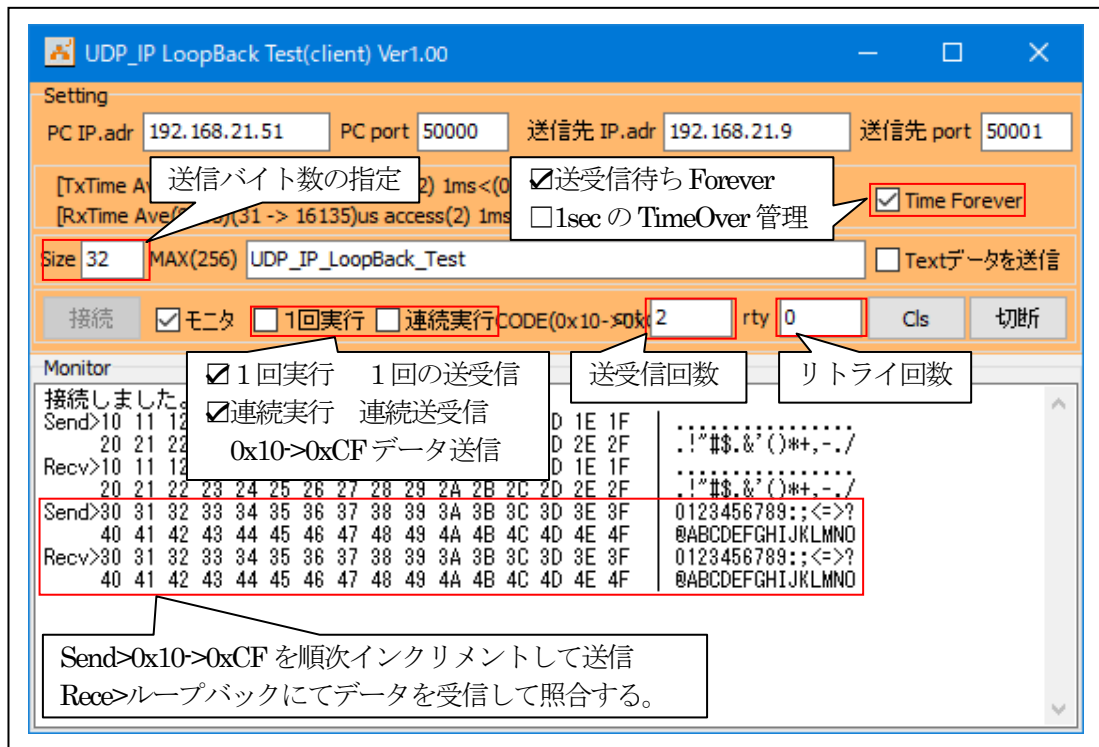
プログラム場所【ご購入 CD¥MCU サンプルプログラム¥\_PC\_Test】



2) UDP/IP Portを「接続」する。



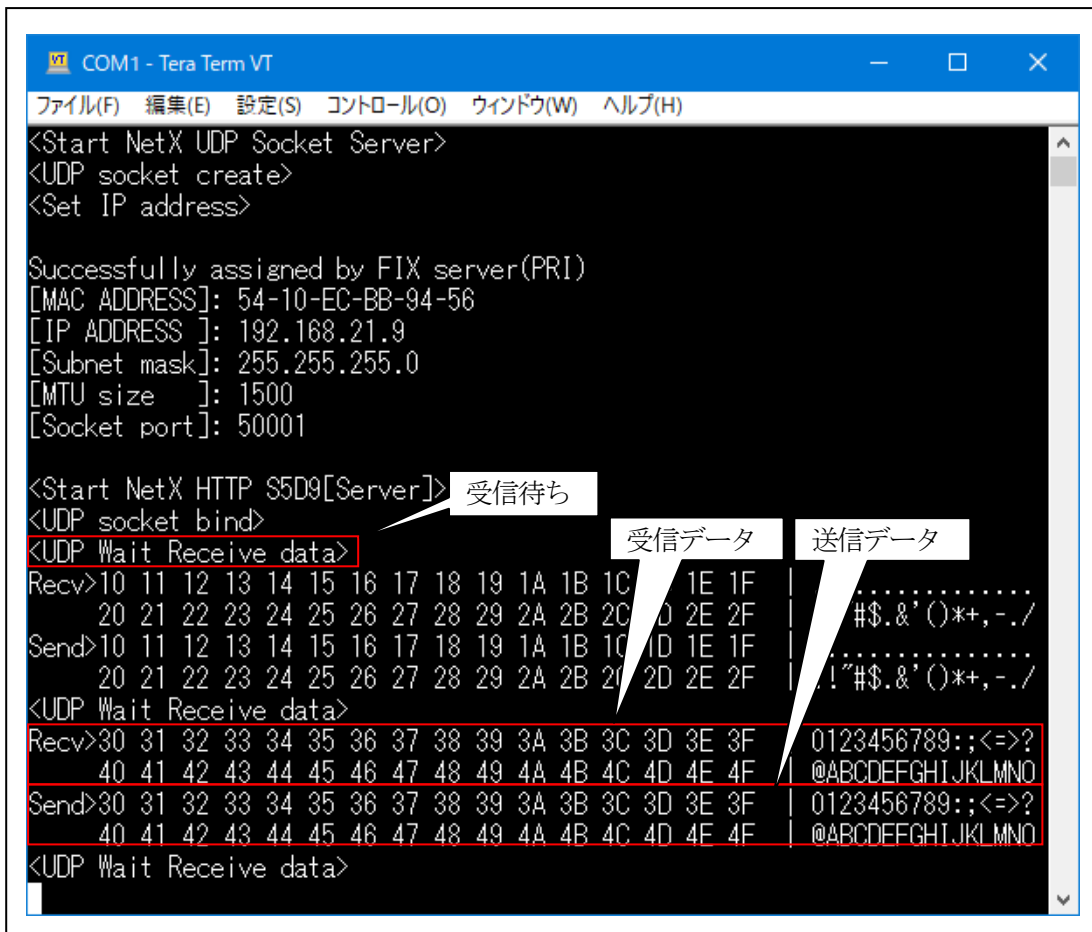
3) ループバック送受信を確認する。



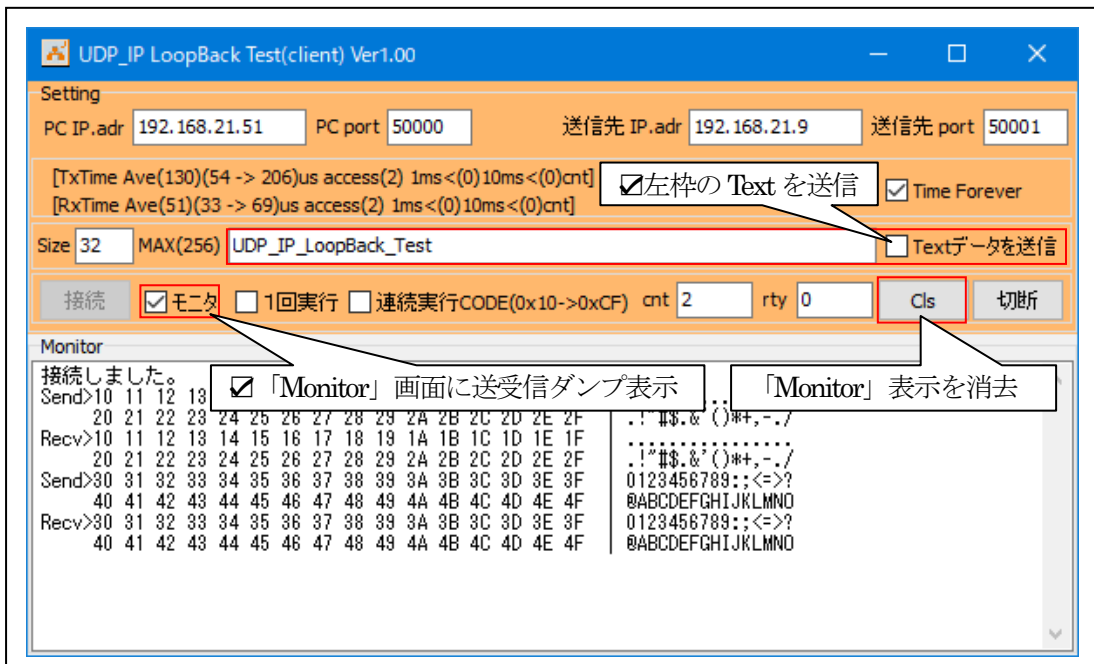
**【Error 表示】**

- ・受信待ち 1sec Time Over になった場合は、リトライする。「Forever ノーチェックの場合」
- ・送信と受信データの照合エラー表示 「Send <=>Recv 照合 Error!!」

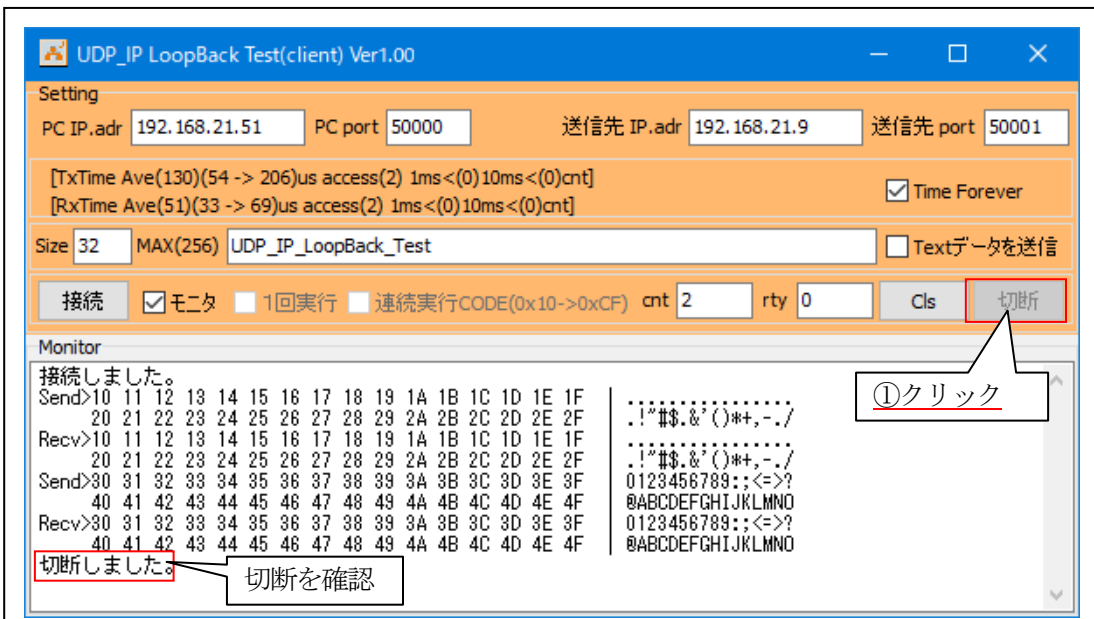
<Term 画面 MP-S5D9-01 側の表示>



4) その他の説明



5) UDP/IP Portを「切断」する。



7-4. デバッグの終了

☆詳細操作は「[e2studio\\_synergy\\_Import.pdf](#)」の3-3項を参照して下さい。

## 8. 注意事項

- 本文書の著作権は、エーワン（株）が保有します。
- 本文書を無断での転載は一切禁止します。
- 本文書に記載されている内容についての質問やサポートはお受けすることが出来ません。
- 本文章に関して、ルネサス エレクトロニクス社への問い合わせは御遠慮願います。
- 本文書の内容に従い、使用した結果、損害が発生しても、弊社では一切の責任を負わないものとしします。
- 本文書の内容に関して、万全を期して作成しましたが、ご不審な点、誤りなどの点がありましたら弊社までご連絡くだされば幸いです。
- 本文書の内容は、予告なしに変更されることがあります。

## 9. 商標

- e2studio は、ルネサス エレクトロニクス株式会社の登録商標、または商品名称です。
- Renesas Synergy<sup>™</sup>および S3A7/S5D9/S7G2 は、ルネサス エレクトロニクス株式会社の登録商標、または商品名です。
- その他の会社名、製品名は、各社の登録商標または商標です。

## 10. 参考文献

- 「S3A7 ユーザーズマニュアル ハードウェア編」 ルネサス エレクトロニクス株式会社
- 「S5D9 ユーザーズマニュアル ハードウェア編」 ルネサス エレクトロニクス株式会社
- 「S7G2 ユーザーズマニュアル ハードウェア編」 ルネサス エレクトロニクス株式会社
- ルネサス エレクトロニクス株式会社提供のサンプル集
- 「e2studio ユーザーズマニュアル 入門ガイド」 ルネサス エレクトロニクス株式会社
- 「SSP vx.x.x User's Manual」 ルネサス エレクトロニクス株式会社
- 「X-Ware Component Documents for Renesas Synergy<sup>™</sup>」 ルネサス エレクトロニクス株式会社
- その他

〒486-0852

愛知県春日井市下市場町 6-9-20

エーワン株式会社

<https://www.robin-w.com>

